



平成25年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年8月10日

上場会社名 トナミホールディングス株式会社 上場取引所 東・大  
 コード番号 9070 URL <http://www.tonamiholdings.co.jp>  
 代表者 (役職名)取締役社長 (氏名)綿貫 勝介  
 問合せ先責任者 (役職名)取締役財務部長 (氏名)輪達 光春 (TEL)0766(32)1073  
 四半期報告書提出予定日 平成24年8月10日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第1四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第1四半期	28,343	△3.1	565	315.0	616	202.4	406	—
24年3月期第1四半期	29,235	2.4	136	△4.6	203	△20.8	△296	—

(注) 包括利益 25年3月期第1四半期 226百万円(—%) 24年3月期第1四半期 △333百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益	
	円	銭	円	銭
25年3月期第1四半期	4	48	—	—
24年3月期第1四半期	△3	26	—	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第1四半期	114,996	—	46,088	—	39.8	—
24年3月期	116,085	—	46,045	—	39.4	—

(参考) 自己資本 25年3月期第1四半期 45,755百万円 24年3月期 45,696百万円

2. 配当の状況

	年間配当金					
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計	
	円	銭	円	銭	円	銭
24年3月期	—	—	2 00	—	2 00	4 00
25年3月期	—	—	—	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	2 00	—	2 00	4 00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
第2四半期(累計)	59,400	1.4	920	159.9	1,070	134.1	480	135.3	5	29
通期	120,200	2.1	2,000	42.6	2,300	42.2	1,020	61.4	11	24

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
 新規 一社(社名) — 、除外 一社(社名) —
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

25年3月期1Q	97,610,118株	24年3月期	97,610,118株
25年3月期1Q	6,848,164株	24年3月期	6,845,870株
25年3月期1Q	90,763,228株	24年3月期1Q	90,772,131株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続が実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) セグメント情報等	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8
(6) その他注記事項	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間(平成24年4月1日～平成24年6月30日、以下「当第1四半期」という。)におけるわが国の経済は、東日本大震災(以下「震災」という。)後の復興需要の本格化や個人消費や設備投資に緩やかな持ち直しの動きが見られたものの、欧州の債務危機を背景とした世界経済の減速や長引く円高・株価低迷などの不安材料もあり、依然として先行きは不透明な状況となっております。

物流業界におきましても、国内貨物輸送量が、生産等の回復や前年度における大幅減の反動などを受けて前年より改善傾向が予想されるものの、国際貨物輸送は円高の影響や震災後の生産拠点の海外シフトの進行により輸出の伸び悩みが懸念されております。また、同業者間競争や運賃値下げの深厚など、依然として厳しい経営環境が続きました。

このような中で、当社グループの当第1四半期の経営成績は、貨物自動車運送事業及び貨物利用運送事業の安定的収益確保、重点とする3PL(サードパーティ・ロジスティクス)事業をはじめとする関連事業の拡大につとめる一方で、収益内容の見直しを促進いたしました結果、営業収益は28,343百万円と、前年同四半期に比べ891百万円(3.1%)の減収となりました。

また、利益面におきましては、運賃・料金の見直しや燃料費の上昇懸念など収益性マイナス要因もありましたが、本年4月からスタートいたしました「中期経営3ヶ年計画」における「収益構造改革」を推進しました結果、営業利益は565百万円と前年同四半期に比べ429百万円(315.0%)の増益となりました。

経常利益は616百万円を計上し、前年同四半期に比べ412百万円(202.4%)の増益となりました。

四半期純利益は406百万円となり、前年同四半期に比べ702百万円の増益となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

なお、以下におけるセグメント利益は営業利益ベースの数値であります。

## ①物流関連事業

当第1四半期における物流関連事業は、貨物自動車運送事業及び貨物利用運送事業、3PL(サードパーティ・ロジスティクス)事業における既存顧客の受諾業務の拡大および新規顧客の開拓等につとめましたが、不採算取引の見直しや、輸出関連の物流需要の低迷もあり、営業収益は26,345百万円と前年同四半期に比べ588百万円(2.2%)の減収となりました。

セグメント利益は、燃料費の上昇懸念もありましたが、重点とする3PL事業の収益性改善、主力の貨物自動車運送事業及び貨物利用運送事業の業務効率向上によるコスト低減などにより、597百万円と前年同四半期に比べ576百万円の増益となりました。

## ②情報処理事業

情報処理事業における営業収益は512百万円となり、前年同四半期に比べ203百万円(28.4%)の減収となりました。セグメント損益は料金見直し要因などもあり、98百万円の損失で前年同四半期に比べ136百万円の減益となりました。

## ③販売事業

物品販売ならびに委託売買業、損害保険代理業等の販売事業における営業収益は1,287百万円とな

り、前年同四半期に比べ57百万円(4.3%)の減収となりました。

セグメント損益は2百万円の損失を計上し、前年同四半期に比べ15百万円の減益となりました。

その他では、自動車修理業、ダイレクトメール業等で営業収益197百万円を計上し、前年同四半期に比べ42百万円(17.6%)の減収となりました。

セグメント利益は31百万円で、前年同四半期に比べ1百万円(5.1%)の減益となりました。

## (2) 連結財政状態に関する定性的情報

### 資産、負債及び純資産の状況

総資産は114,996百万円となり、前連結会計年度に比べ1,088百万円(0.9%)減少しました。これは主として流動資産で営業未収入金が533百万円、その他流動資産が603百万円減少したことなどによります。

負債は68,908百万円となり、前連結会計年度に比べ1,130百万円(1.6%)減少しました。これは主として流動負債で営業未払金が858百万円、賞与引当金が592百万円減少したことなどによります。

純資産は46,088百万円となり、前連結会計年度に比べ42百万円(0.1%)増加しました。これは主として四半期純利益を計上するなどして利益剰余金が308百万円増加したことなどによります。

以上により、自己資本比率は前連結会計年度の39.4%から39.8%となりました。

## (3) 連結業績予想に関する定性的情報

今後の国内経済は、欧州の財政不安などによる世界的な景気の停滞、長期化する円高などにより先行きの不透明感が継続するものと思われませんが、当グループの第2四半期の業績は概ね当初計画に沿って進捗しており、第2四半期累計期間及び通期の業績については、現時点では、平成24年5月11日に公表しました予想に変更はありません。

## 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

### (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

### (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

### (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	8,635	9,276
受取手形	3,636	3,419
営業未収入金	16,382	15,849
たな卸資産	605	587
繰延税金資産	510	238
その他	3,318	2,715
貸倒引当金	△45	△43
流動資産合計	33,044	32,043
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	21,340	21,103
機械装置及び運搬具(純額)	2,050	2,257
土地	41,303	40,980
その他(純額)	6,902	7,376
有形固定資産合計	71,597	71,718
無形固定資産		
のれん	95	69
その他	780	768
無形固定資産合計	875	837
投資その他の資産		
投資有価証券	5,630	5,408
破産更生債権等	115	132
繰延税金資産	298	436
その他	4,881	4,793
貸倒引当金	△357	△372
投資その他の資産合計	10,567	10,397
固定資産合計	83,040	82,953
資産合計	116,085	114,996

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形	787	702
営業未払金	10,140	9,282
短期借入金	13,490	14,275
1年内返済予定の長期借入金	1,207	1,191
1年内償還予定の社債	—	3,000
未払法人税等	416	60
未払消費税等	204	491
賞与引当金	818	226
その他	7,157	7,773
流動負債合計	34,222	37,002
固定負債		
社債	3,000	—
長期借入金	7,452	7,239
再評価に係る繰延税金負債	4,741	4,695
退職給付引当金	14,079	13,719
役員退職慰労引当金	154	113
負ののれん	229	210
その他	6,158	5,927
固定負債合計	35,817	31,906
負債合計	70,039	68,908
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	14,182	14,182
資本剰余金	11,682	11,682
利益剰余金	15,007	15,315
自己株式	△2,016	△2,016
株主資本合計	38,855	39,164
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	426	262
土地再評価差額金	6,413	6,329
その他の包括利益累計額合計	6,840	6,591
少数株主持分	349	332
純資産合計	46,045	46,088
負債純資産合計	116,085	114,996

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 四半期連結損益計算書  
 第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)
営業収益	29,235	28,343
営業原価	27,524	26,233
営業総利益	1,710	2,109
販売費及び一般管理費	1,574	1,543
営業利益	136	565
営業外収益		
受取利息	47	57
受取配当金	67	59
受取家賃	43	35
負ののれん償却額	19	19
持分法による投資利益	5	12
その他	42	45
営業外収益合計	226	230
営業外費用		
支払利息	129	126
その他	28	53
営業外費用合計	158	179
経常利益	203	616
特別利益		
固定資産売却益	18	199
その他	5	39
特別利益合計	24	238
特別損失		
固定資産売却損	9	1
投資有価証券評価損	11	1
固定資産除却損	16	16
災害による損失	26	21
その他	4	3
特別損失合計	68	44
税金等調整前四半期純利益	159	811
法人税、住民税及び事業税	125	130
過年度法人税等	—	112
法人税等調整額	345	176
法人税等合計	470	419
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△311	391
少数株主損失(△)	△15	△14
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△296	406

四半期連結包括利益計算書  
第1四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	△311	391
その他の包括利益		
其他有価証券評価差額金	△21	△164
持分法適用会社に対する持分相当額	△0	△1
その他の包括利益合計	△21	△165
四半期包括利益	△333	226
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△317	241
少数株主に係る四半期包括利益	△15	△14

## (3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

## (4) セグメント情報等

## I 前第1四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)

## 1. 報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 注1	合計	調整額 注2	四半期連結 損益計算書 計上額 注3
	物流関連 事業	情報処理 事業	販売 事業	計				
営業収益								
外部顧客に対する営業収益	26,933	716	1,345	28,995	239	29,235	—	29,235
セグメント間の内部 営業収益又は振替高	6	52	1,428	1,487	171	1,659	△1,659	—
計	26,940	768	2,773	30,483	411	30,894	△1,659	29,235
セグメント利益	20	38	13	72	32	105	30	136

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、自動車修理業、ダイレクトメール業等を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額30百万円にはセグメント間消去183百万円と各報告セグメントに配分していない全社費用△152百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない財務諸表提出会社の費用です。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## II 当第1四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)

## 1. 報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 注1	合計	調整額 注2	四半期連結 損益計算書 計上額 注3
	物流関連 事業	情報処理 事業	販売 事業	計				
営業収益								
外部顧客に対する営業収益	26,345	512	1,287	28,146	197	28,343	—	28,343
セグメント間の内部 営業収益又は振替高	6	63	1,280	1,349	195	1,545	△1,545	—
計	26,352	575	2,567	29,495	393	29,888	△1,545	28,343
セグメント利益 又はセグメント損失(△)	597	△98	△2	496	31	527	37	565

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、自動車修理業、ダイレクトメール業等を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額37百万円にはセグメント間消去180百万円と各報告セグメントに配分していない全社費用△142百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない財務諸表提出会社の費用です。

3 セグメント利益又はセグメント損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## (5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

## (6) その他注記事項

## 事業別営業収益明細表

(単位：百万円)

事業別	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)		当第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)		増減	
	営業収益	構成比	営業収益	構成比	金額	増減率
物流関連事業	(26,933)	(92.1)	(26,345)	(93.0)	(△588)	(△2.2)
貨物自動車運送事業 及び貨物利用運送事業	20,618	70.5	20,135	71.0	△482	△2.3
倉庫事業	4,895	16.7	4,691	16.6	△204	△4.2
港湾運送事業	1,420	4.9	1,519	5.4	99	7.0
情報処理事業	(716)	(2.5)	(512)	(1.8)	(△203)	(△28.4)
販売事業	(1,345)	(4.6)	(1,287)	(4.5)	(△57)	(△4.3)
その他	(239)	(0.8)	(197)	(0.7)	(△42)	(△17.6)
合計	29,235	100.0	28,343	100.0	△891	△3.1

(注)その他欄には、自動車修理業、ダイレクトメール業等の各収入を含めて表示しております。